

令和5(2023)年における島田市の人口動向

<人口の動き※まとめ>

- 前年と比較して、人口は 798 人の減少（うち、外国人人口は 184 人の増加）
- 12 月末の人口は、95,698 人（うち、外国人 1,883 人）
- 日本人のみの自然動態は、835 人の減少、社会動態は、158 人の減少
- 外国人を含む自然動態は、827 人の減少、社会動態は、47 人の増加
- 日本人のみの社会動態では、平成 8 (1996) 年以降、平均 156 人の転出超過で推移しているものの、直近 3 年では、平均 88 人の転出超過となっており、超過人数は減少傾向
- 人口全体に占める外国人の比率は 1.97%（令和 4 年：1.76%）
- 外国人人口は、平成 27(2015)年から令和 2(2020)年まで継続して増加し、令和 3(2021)年は減少したが、令和 4(2022)年、令和 5(2023)年は再び増加に転じている
- 外国人は、令和 2(2020)年まで連続して転入超過となり、令和 3(2021)年は転出超過となったが、令和 4(2022)年は再び転入超過となり、令和 5(2023)年も引き続き転入超過となっている（転入 569 人、転出 364 人）

※ 厚労省、総務省、市民課が公表する 3 種類の数値を使用しており、それぞれ集計する時点が異なる。

■島田市 出生・死亡、転入・転出の推移表

(人)

		自然増減（日本人のみ）			社会増減（日本人のみ）			社会増減（外国人含む）		
		出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会増減	転入	転出	社会増減
H8	1996年	912	754	158	3,071	3,315	-244			
H9	1997年	929	776	153	3,114	3,205	-91			
H10	1998年	906	784	122	2,664	3,130	-466			
H11	1999年	867	831	36	2,783	3,092	-309			
H12	2000年	831	829	2	2,970	3,125	-155			
H13	2001年	861	887	-26	2,987	3,095	-108			
H14	2002年	854	865	-11	2,815	3,045	-230			
H15	2003年	843	847	-4	2,902	3,118	-216			
H16	2004年	840	865	-25	3,081	3,072	9			
H17	2005年	853	967	-114	2,796	2,774	22			
H18	2006年	810	921	-111	2,484	2,751	-267			
H19	2007年	884	933	-49	2,597	2,814	-217			
H20	2008年	876	989	-113	2,497	2,693	-196			
H21	2009年	790	1,109	-319	2,367	2,463	-96			
H22	2010年	815	1,080	-265	2,168	2,416	-248			
H23	2011年	788	1,061	-273	2,207	2,336	-129			
H24	2012年	792	1,154	-362	2,298	2,407	-109			
H25	2013年	776	1,065	-289	2,265	2,563	-298			
H26	2014年	719	1,130	-411	2,288	2,359	-71			
H27	2015年	748	1,157	-409	2,277	2,407	-130	2,649	2,712	-63
H28	2016年	680	1,143	-463	2,158	2,275	-117	2,591	2,574	17
H29	2017年	701	1,249	-548	2,041	2,293	-252	2,459	2,642	-183
H30	2018年	657	1,167	-510	2,263	2,360	-97	2,633	2,593	40
R1	2019年	645	1,209	-564	2,222	2,293	-71	2,632	2,551	81
R2	2020年	610	1,200	-590	2,153	2,167	-14	2,416	2,347	69
R3	2021年	596	1,204	-608	2,071	2,137	-66	2,324	2,434	-110
R4	2022年	544	1,318	-774	2,092	2,133	-41	2,752	2,506	246
R5	2023年	504	1,339	-835	1,987	2,145	-158	2,556	2,509	47

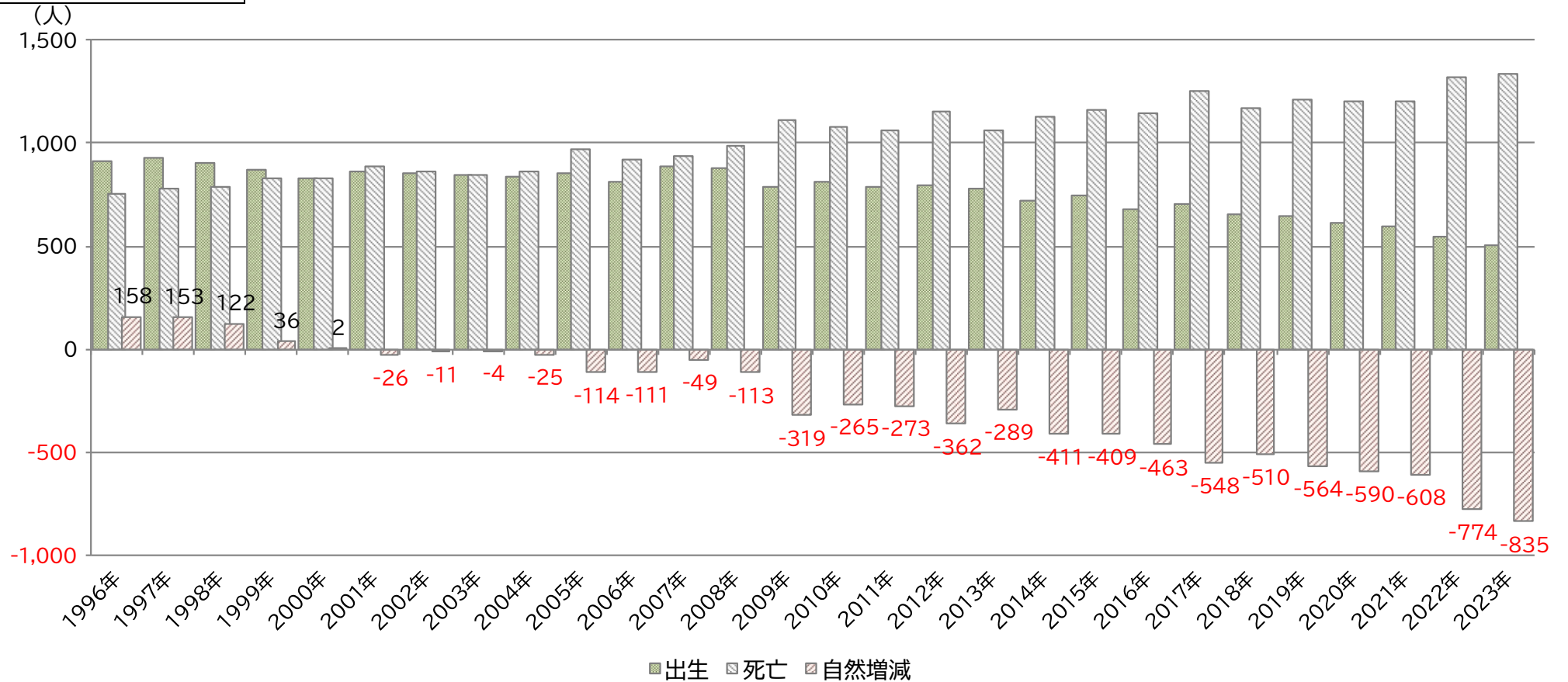
自然増減：厚労省人口動態調査（2018年以降は見込み数値）

社会増減：総務省住民基本台帳人口移動報告（日本人のみ・2018年以降は見込み数値）、島田市住民基本台帳（外国人含む）

<自然増減（日本人のみ）>

- 平成 13(2001)年から出生より死亡が多くなった
- 自然減少数は拡大し続けており、令和 4 (2022)年に 700 人を超えたが、令和 5 (2023)年はさらに増加し 800 人を超えた

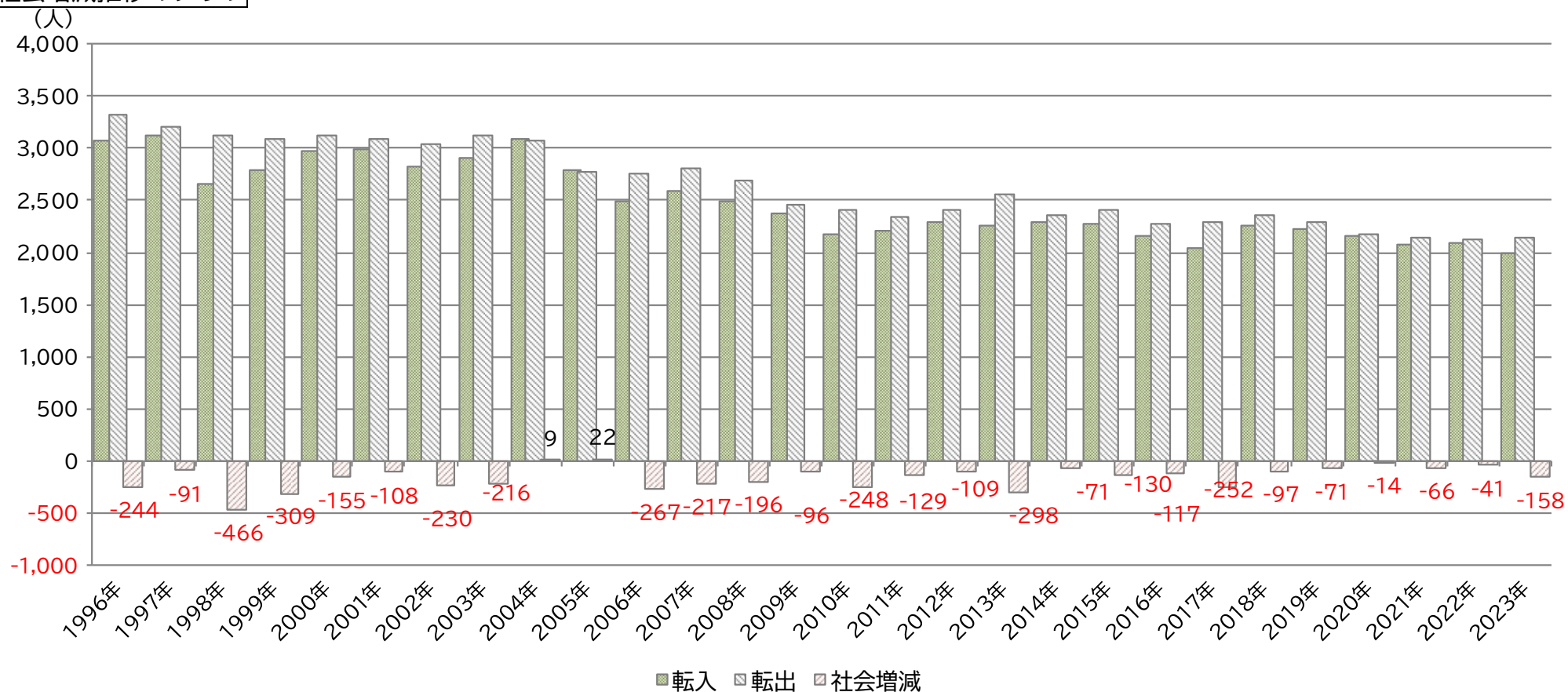
自然増減推移のグラフ



<社会増減（日本人のみ）>

- 平成8（1996）年以降の平均で転入が年間2,486人、転出が2,642人で、転出超過（156人減）
- 過去5年でみると、平均で転入が年間2,105人、転出が2,175人で、転出超過（70人減）
- 過去3年でみると、平均で転入が年間2,050人、転出が2,138人で、転出超過（88人減）

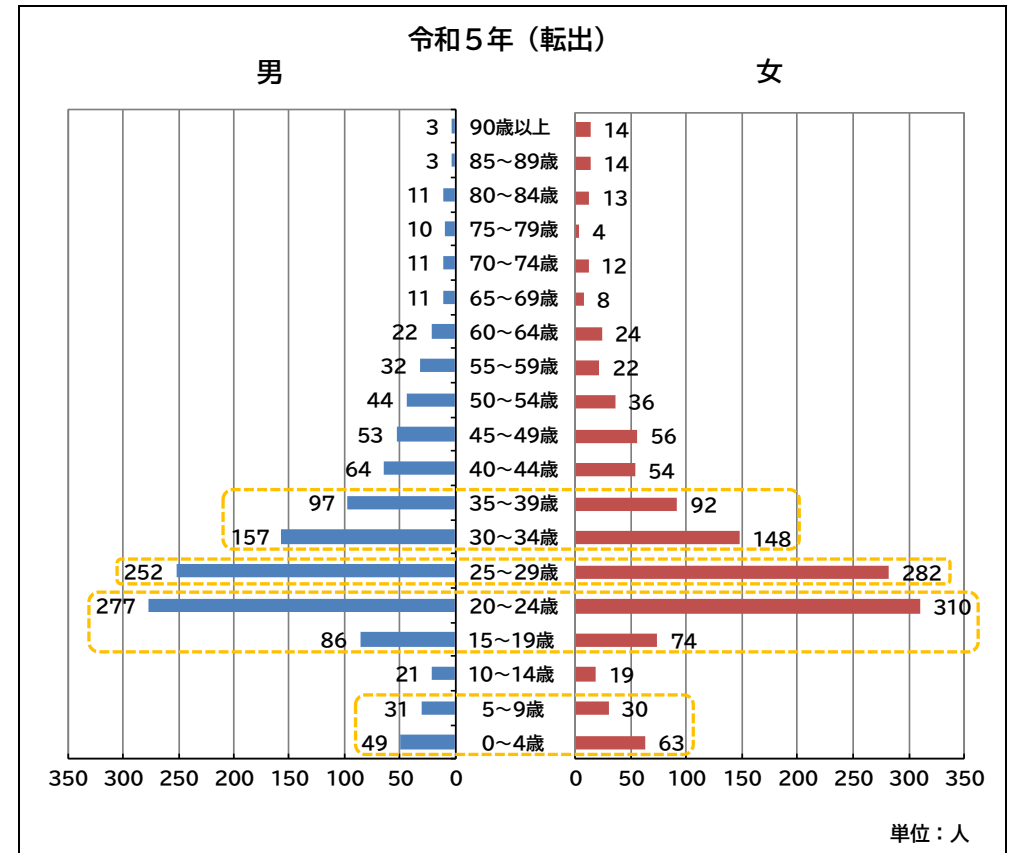
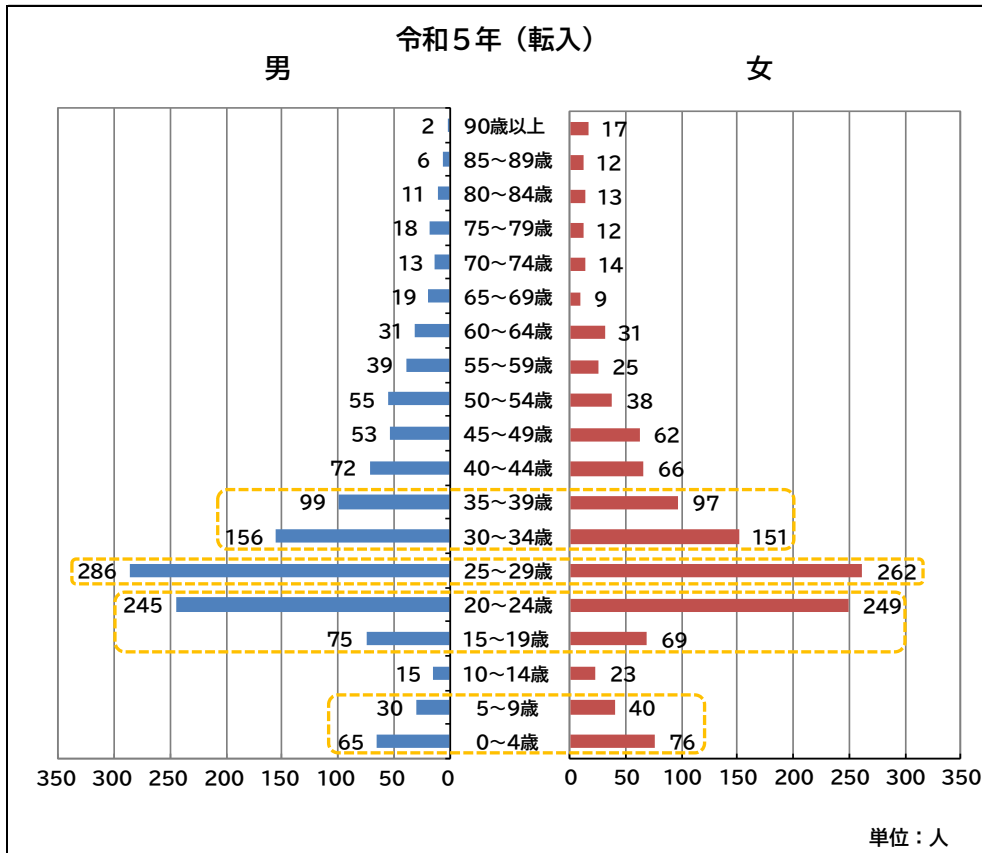
社会増減推移のグラフ



<年齢別男女別移動>

- 9歳以下は、平成26(2014)年から10年連続で転入超過（令和5年：38人増）
- 10歳代後半から20歳代前半までで大幅な転出超過
- 20歳代前半は、令和4(2022)年は転入超過（14人増）となったが、令和5(2023)年は再び転出超過（93人減）となった
- 20歳代後半は、女性においては転出超過（20人減）であるが、男性においては転入超過（34人増）
- 30歳代は、平成26(2014)年以降、転入超過傾向が続いている

■転入・転出の性別・年齢別構成



<県内外人口移動>

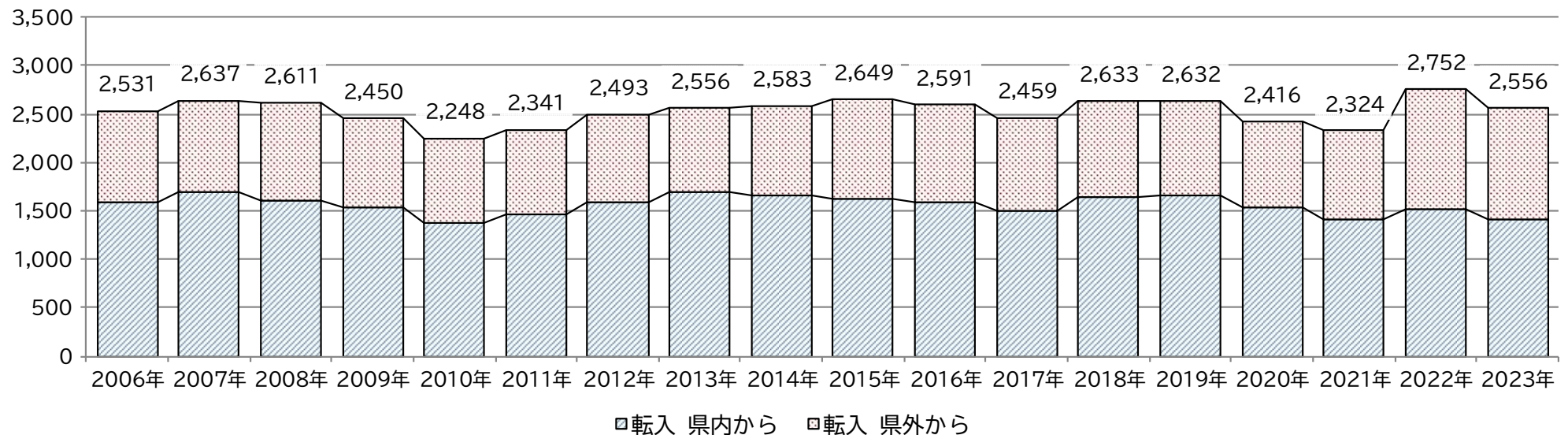
- 転入、転出ともに県内の移動の方が多い
- 県内の移動では、平成 26(2014)年以降、転入超過傾向が続いている
- 県外の移動では、令和 4 (2022)年は転入超過となったが、令和 5 (2023)年は転出超過となった
- 県内での純移動は、平成 29(2017)年に減少に転じたものの、平成 30(2018)年以降は増加が続いている

■県内外別にみた人口移動の最近の状況

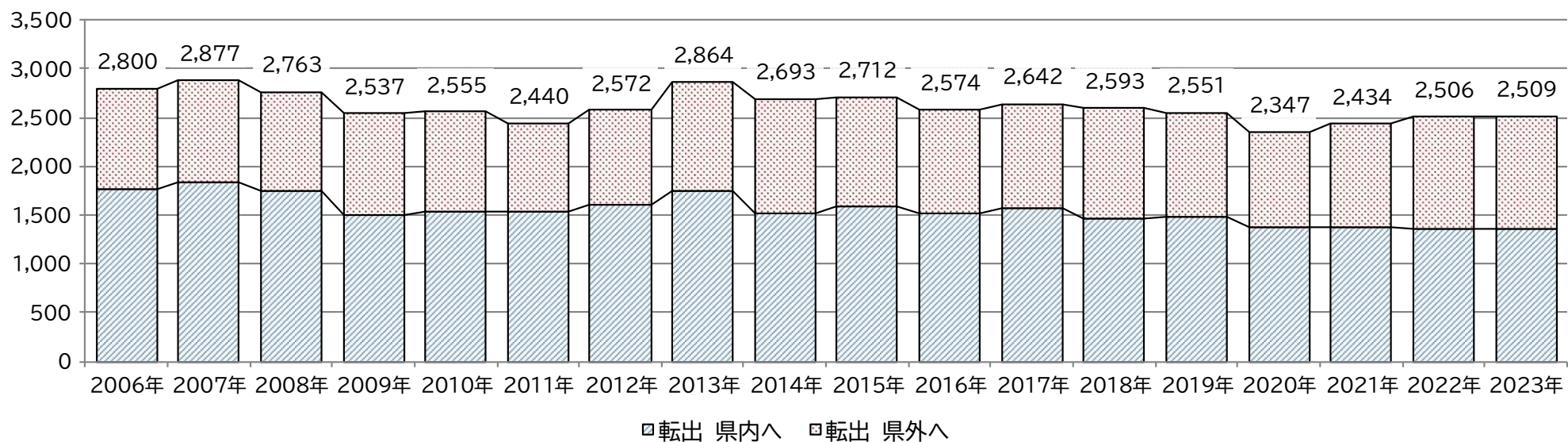
転入転出の状況を見ると、静岡県内での転入と転出が多いことがわかります。人口移動の状況を見ると、転入は平成 22(2010)年を底として回復傾向に転じています。一方、転出は平成 23(2011)年まで減少傾向にありましたが、平成 24(2012)年以降増加し、近年は同水準でほぼ横ばいとなっています。

■島田市 県内外別にみた人口移動の最近の状況（住民基本台帳から集計）

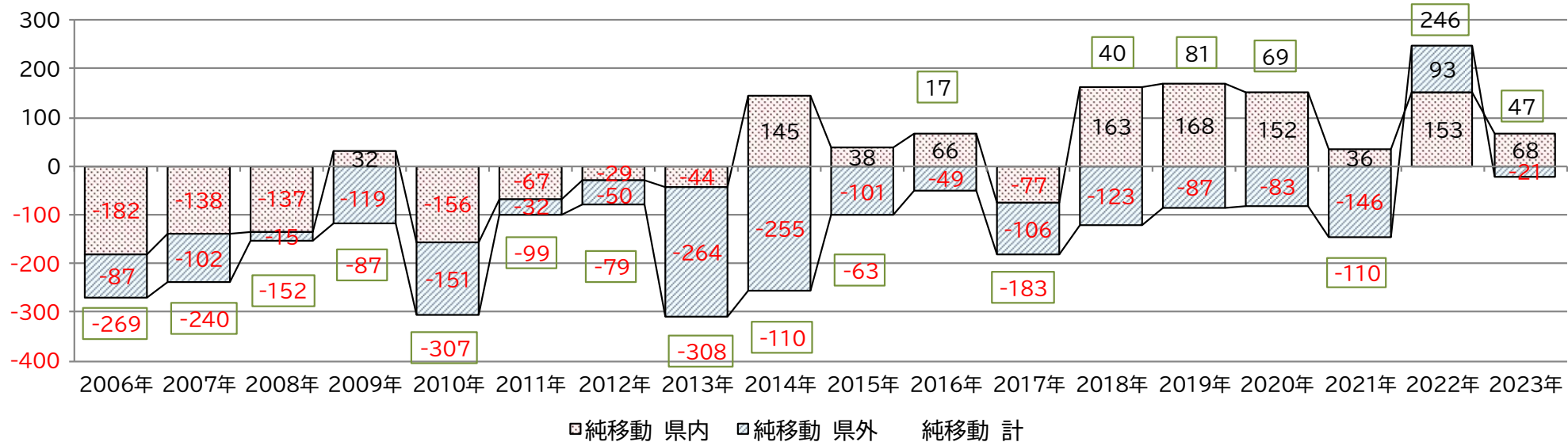
【転入数】（人）



【転出数】(人)



【純移動数】(人)



県内外別 人口移動内訳表

(人)

	転入			転出			純移動		
	県内から	県外から	計	県内へ	県外へ	計	県内	県外	計
2006年	1,579	952	2,531	1,761	1,039	2,800	-182	-87	-269
2007年	1,691	946	2,637	1,829	1,048	2,877	-138	-102	-240
2008年	1,612	999	2,611	1,749	1,014	2,763	-137	-15	-152
2009年	1,534	916	2,450	1,502	1,035	2,537	32	-119	-87
2010年	1,381	867	2,248	1,537	1,018	2,555	-156	-151	-307
2011年	1,466	875	2,341	1,533	907	2,440	-67	-32	-99
2012年	1,582	911	2,493	1,611	961	2,572	-29	-50	-79
2013年	1,699	857	2,556	1,743	1,121	2,864	-44	-264	-308
2014年	1,666	917	2,583	1,521	1,172	2,693	145	-255	-110
2015年	1,630	1,019	2,649	1,592	1,120	2,712	38	-101	-63
2016年	1,588	1,003	2,591	1,522	1,052	2,574	66	-49	17
2017年	1,491	968	2,459	1,568	1,074	2,642	-77	-106	-183
2018年	1,632	1,001	2,633	1,469	1,124	2,593	163	-123	40
2019年	1,656	976	2,632	1,488	1,063	2,551	168	-87	81
2020年	1,529	887	2,416	1,377	970	2,347	152	-83	69
2021年	1,411	913	2,324	1,375	1,059	2,434	36	-146	-110
2022年	1,518	1,234	2,752	1,365	1,141	2,506	153	93	246
2023年	1,419	1,137	2,556	1,351	1,158	2,509	68	-21	47

(住民基本台帳より集計)

<県外人口移動>

- ▶ 令和元(2019)年以降、転出超過数が最も多いのは、東京都、続いて東京都を除く東京圏

■地域ブロック別人口移動の最近の状況（住民基本台帳から集計）

令和元(2019)年から令和5(2023)年の島田市の社会動態について、地域ブロック別に集計し、東北、東京圏（東京都を除く）、東京都、静岡県、東海3県、関西圏の人数を掲載します。

関西圏 (人)

	転入	転出	転入-転出
2019	65	85	▲ 20
2020	86	87	▲ 1
2021	74	87	▲ 13
2022	83	88	▲ 5
2023	85	79	▲ 6
累計	393	426	▲ 33

東北 (人)

	転入	転出	転入-転出
2019	30	23	▲ 7
2020	26	26	0
2021	21	34	▲ 13
2022	29	12	▲ 17
2023	28	20	▲ 8
累計	134	115	▲ 19

東京圏（東京都を除く） (人)

	転入	転出	転入-転出
2019	130	202	▲ 72
2020	154	203	▲ 49
2021	175	231	▲ 56
2022	213	218	▲ 5
2023	215	252	▲ 37
累計	887	1,106	▲ 219

東京都 (人)

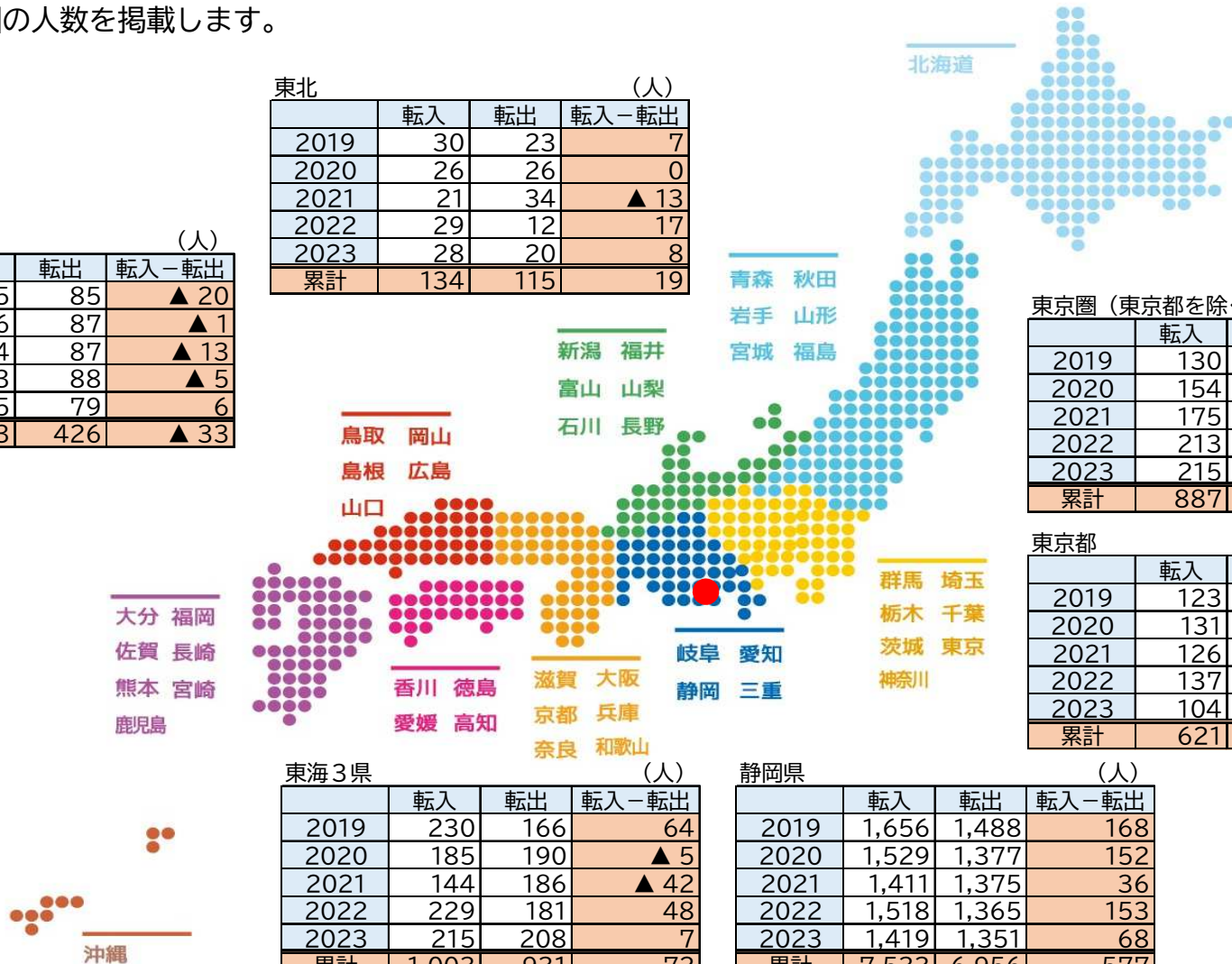
	転入	転出	転入-転出
2019	123	222	▲ 99
2020	131	176	▲ 45
2021	126	165	▲ 39
2022	137	187	▲ 50
2023	104	189	▲ 85
累計	621	939	▲ 318

東海3県 (人)

	転入	転出	転入-転出
2019	230	166	▲ 64
2020	185	190	▲ 5
2021	144	186	▲ 42
2022	229	181	▲ 48
2023	215	208	▲ 7
累計	1,003	931	▲ 72

静岡県 (人)

	転入	転出	転入-転出
2019	1,656	1,488	▲ 168
2020	1,529	1,377	▲ 152
2021	1,411	1,375	▲ 36
2022	1,518	1,365	▲ 153
2023	1,419	1,351	▲ 68
累計	7,533	6,956	▲ 577



<県外人口移動>

- ▶ 令和元(2019)年以降、転入超過上位5県は、岐阜県、栃木県、鹿児島県、石川県、大分県
- ▶ 令和元(2019)年以降、転出超過上位5都府県は、東京都、神奈川県、埼玉県、京都府、大阪府

■都道府県別人口移動の最近の状況（住民基本台帳から集計）

令和元(2019)年から令和5(2023)年の島田市の社会動態について、都道府県別に集計し、転入及び転出超過の大きい都道府県を抜粋しています。

転入超過上位5県（令和元(2019)年以降）

	転入	転出	転入-転出
2019	45	22	23
2020	15	14	1
2021	10	9	1
2022	30	26	4
2023	49	13	36
累計	149	84	65

	転入	転出	転入-転出
2019	13	8	5
2020	20	9	11
2021	25	6	19
2022	12	5	7
2023	8	12	▲4
累計	78	40	38

	転入	転出	転入-転出
2019	12	2	10
2020	5	0	5
2021	7	3	4
2022	5	4	1
2023	10	6	4
累計	39	15	24

	転入	転出	転入-転出
2019	19	4	15
2020	10	13	▲3
2021	18	5	13
2022	8	4	4
2023	5	11	▲6
累計	60	37	23

	転入	転出	転入-転出
2019	2	2	0
2020	12	0	12
2021	7	3	4
2022	3	3	0
2023	6	0	6
累計	30	8	22

	転入	転出	転入-転出
静岡県	7,533	6,956	577
岐阜県	149	84	65
栃木県	78	40	38
鹿児島県	39	15	24
石川県	60	37	23
大分県	30	8	22
富山県	32	15	17
茨城県	101	86	15
和歌山県	29	14	15

岐阜県からの転入が多く、
令和元(2019)年以降 65 人の転入超過。
令和5(2023)年は 36 人の転入超過。

転入超過上位5県（令和5(2023)年）

	転入	転出	転入-転出
2023	49	13	36

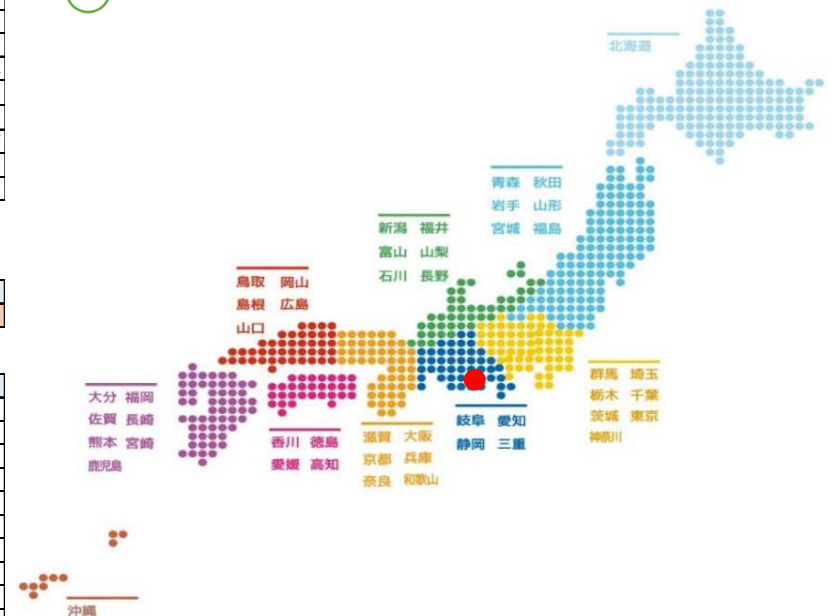
	転入	転出	転入-転出
2023	71	52	19

	転入	転出	転入-転出
2023	17	4	13

	転入	転出	転入-転出
2023	21	10	11

	転入	転出	転入-転出
2023	23	15	8

	転入	転出	転入-転出
静岡県	1,419	1,351	68
岐阜県	49	13	36
千葉県	71	52	19
滋賀県	17	4	13
兵庫県	21	10	11
三重県	23	15	8
福井県	9	3	6
長野県	18	12	6
島根県	7	1	6
大分県	6	0	6



転出超過上位5都府県（令和元(2019)年以降）

東京都	(人)		
	転入	転出	転入-転出
2019	123	222	▲99
2020	131	176	▲45
2021	126	165	▲39
2022	137	187	▲50
2023	104	189	▲85
累計	621	939	▲318

神奈川県	(人)		
	転入	転出	転入-転出
2019	73	121	▲48
2020	84	116	▲32
2021	103	149	▲46
2022	97	121	▲24
2023	108	145	▲37
累計	465	652	▲187

埼玉県	(人)		
	転入	転出	転入-転出
2019	23	37	▲14
2020	45	44	▲1
2021	35	44	▲9
2022	48	49	▲1
2023	36	55	▲19
累計	187	229	▲42

京都府	(人)		
	転入	転出	転入-転出
2019	12	20	▲8
2020	10	15	▲5
2021	18	10	▲8
2022	11	20	▲9
2023	4	21	▲17
累計	55	86	▲31

大阪府	(人)		
	転入	転出	転入-転出
2019	18	37	▲19
2020	37	36	▲1
2021	26	30	▲4
2022	36	40	▲4
2023	35	40	▲5
累計	152	183	▲31

転出超過上位	(人)		
	転入	転出	転入-転出
東京都	621	939	▲318
神奈川県	465	652	▲187
埼玉県	187	229	▲42
京都府	55	86	▲31
大阪府	152	183	▲31
群馬県	36	62	▲26
熊本県	10	20	▲10
宮崎県	19	29	▲10

転出超過上位5都府県（令和5(2023)年）

東京都	(人)		
	転入	転出	転入-転出
2023	104	189	▲85

神奈川県	(人)		
	転入	転出	転入-転出
2023	108	145	▲37

愛知県	(人)		
	転入	転出	転入-転出
2023	143	180	▲37

埼玉県	(人)		
	転入	転出	転入-転出
2023	36	55	▲19

京都府	(人)		
	転入	転出	転入-転出
2023	4	21	▲17

転出超過上位	(人)		
	転入	転出	転入-転出
東京都	104	189	▲85
神奈川県	108	145	▲37
愛知県	143	180	▲37
埼玉県	36	55	▲19
京都府	4	21	▲17
群馬県	9	18	▲9
石川県	5	11	▲6
宮崎県	2	8	▲6
大阪府	35	40	▲5
熊本県	2	7	▲5

東京圏、関西圏、令和5(2023)年で見ると
愛知県は転出超過となっている。
コロナ禍が明け、東京圏、関西圏、
愛知県などへの転出者が増えている。



<県外人口移動（9歳以下）> **New!!**

- 令和5（2023）年の転入超過上位5県は、福井県、宮城県、茨城県、千葉県、新潟県
- 令和5（2023）年の転出超過上位5県は、埼玉県、神奈川県、石川県、佐賀県、熊本県

■都道府県別人口移動の令和5（2023）年の状況（住民基本台帳から集計）

令和5（2023）年の島田市の9歳以下の方の社会動態について、都道府県別に集計し、転入及び転出超過の大きい都道府県を抜粋しています。

転入超過上位5県（令和5（2023）年）

福井県	(人)		
	転入	転出	転入-転出
2023	3	0	▲3

宮城県	(人)		
	転入	転出	転入-転出
2023	2	0	▲2

茨城県	(人)		
	転入	転出	転入-転出
2023	2	0	▲2

千葉県	(人)		
	転入	転出	転入-転出
2023	3	1	▲2

新潟県	(人)		
	転入	転出	転入-転出
2023	2	0	▲2

(人)			
転入超過上位	転入	転出	転入-転出
静岡県	143	106	▲37
福井県	3	0	▲3
宮城県	2	0	▲2
茨城県	2	0	▲2
千葉県	3	1	▲2
新潟県	2	0	▲2
大分県	2	0	▲2
栃木県	1	0	▲1
群馬県	3	2	▲1
東京都	4	3	▲1
奈良県	1	0	▲1
鹿児島県	1	0	▲1

9歳以下の人口移動は、
県内が多く、県外は少ない。

転出超過上位5県（令和5（2023）年）

埼玉県	(人)		
	転入	転出	転入-転出
2023	2	6	▲4

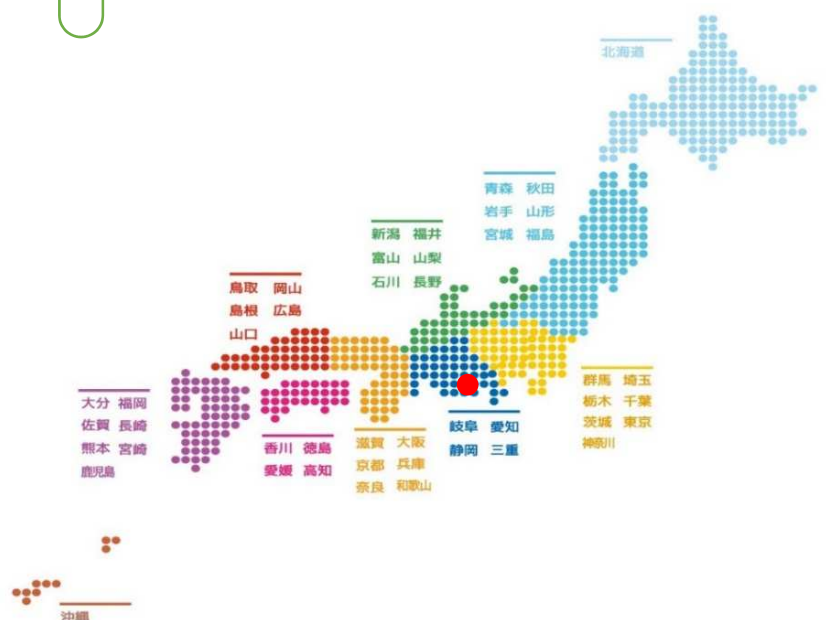
神奈川県	(人)		
	転入	転出	転入-転出
2023	6	10	▲4

石川県	(人)		
	転入	転出	転入-転出
2023	0	2	▲2

佐賀県	(人)		
	転入	転出	転入-転出
2023	0	2	▲2

熊本県	(人)		
	転入	転出	転入-転出
2023	0	2	▲2

(人)			
転出超過上位	転入	転出	転入-転出
埼玉県	2	6	▲4
神奈川県	6	10	▲4
石川県	0	2	▲2
佐賀県	0	2	▲2
熊本県	0	2	▲2
福島県	1	2	▲1
富山県	0	1	▲1
長野県	0	1	▲1
岐阜県	0	1	▲1
愛知県	13	14	▲1
宮崎県	0	1	▲1



<県外人口移動（20歳代前半）> **New!!**

- 令和5（2023）年の転入超過上位5県は、兵庫県、石川県、長野県、三重県、滋賀県
- 令和5（2023）年の転出超過上位5都県は、東京都、神奈川県、埼玉県、愛知県、千葉県

■都道府県別人口移動の令和5（2023）年の状況（住民基本台帳から集計）

令和5（2023）年の島田市の20歳代前半の方の社会動態について、都道府県別に集計し、転入及び転出超過の大きい都道府県を抜粋しています。

転入超過上位5県（令和5（2023）年）

兵庫県 (人)				石川県 (人)				長野県 (人)			
2023	転入	転出	転入-転出	2023	転入	転出	転入-転出	2023	転入	転出	転入-転出
2023	6	2	4	2023	3	0	3	2023	3	0	3

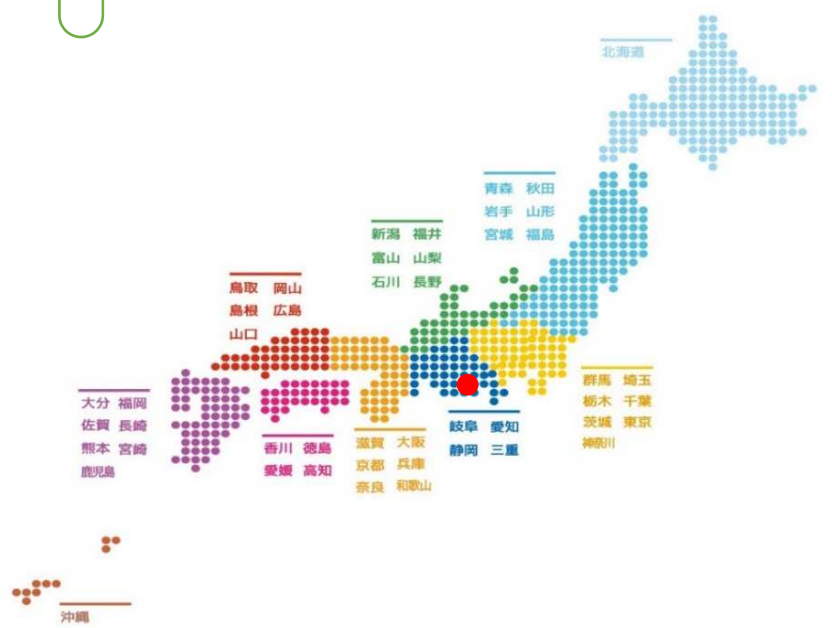
三重県 (人)				滋賀県 (人)				転入超過上位 (人)			
2023	転入	転出	転入-転出	2023	転入	転出	転入-転出	転入超過上位	転入	転出	転入-転出
2023	5	2	3	2023	5	2	3	兵庫県	6	2	4
								石川県	3	0	3
								長野県	3	0	3
								三重県	5	2	3
								滋賀県	5	2	3
								岩手県	2	0	2
								福井県	2	0	2
								島根県	3	1	2
								広島県	5	3	2
								山口県	4	2	2

東京圏や愛知県などへ、
就職による転出が多い。

転出超過上位5都県（令和5（2023）年）

東京都 (人)				神奈川県 (人)				埼玉県 (人)			
2023	転入	転出	転入-転出	2023	転入	転出	転入-転出	2023	転入	転出	転入-転出
2023	29	83	▲54	2023	22	44	▲22	2023	7	19	▲12

愛知県 (人)				千葉県 (人)				転出超過上位 (人)			
2023	転入	転出	転入-転出	2023	転入	転出	転入-転出	転出超過上位	転入	転出	転入-転出
2023	42	53	▲11	2023	16	23	▲7	東京都	29	83	▲54
								神奈川県	22	44	▲22
								静岡県	226	245	▲19
								埼玉県	7	19	▲12
								愛知県	42	53	▲11
								千葉県	16	23	▲7
								京都府	0	6	▲6
								鹿児島県	1	5	▲4
								群馬県	2	5	▲3
								福岡県	2	5	▲3



<県外人口移動（20歳代後半）> **New!!**

- 令和5（2023）年の転入超過上位5県は、岐阜県、三重県、鹿児島県、群馬県、兵庫県
- 令和5（2023）年の転出超過上位5都府県は、愛知県、東京都、大阪府、茨城県、埼玉県

■都道府県別人口移動の令和5（2023）年の状況（住民基本台帳から集計）

令和5（2023）年の島田市の20歳代後半の方の社会動態について、都道府県別に集計し、転入及び転出超過の大きい都道府県を抜粋しています。

転入超過上位5県（令和5（2023）年）

岐阜県 (人)				三重県 (人)				鹿児島県 (人)			
2023	転入	転出	転入-転出	2023	転入	転出	転入-転出	2023	転入	転出	転入-転出
2023	6	2	4	2023	9	5	4	2023	4	0	4

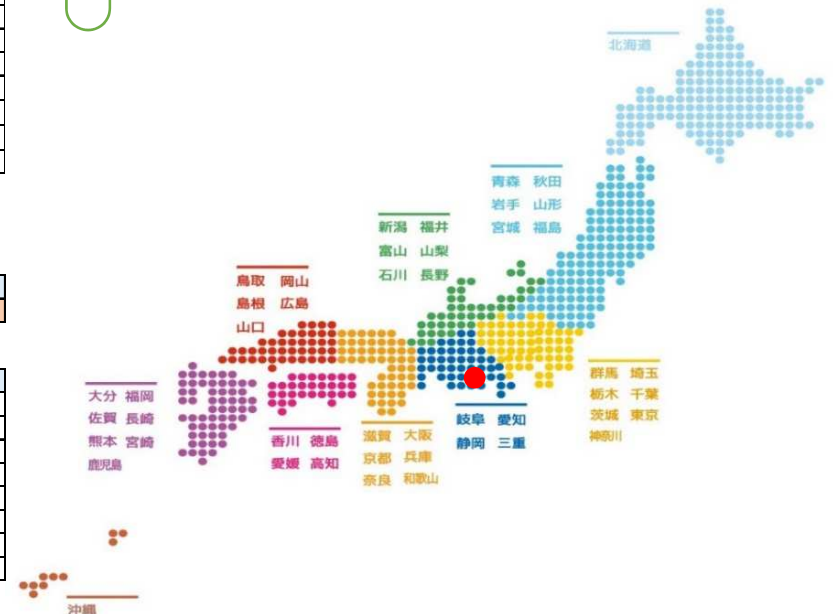
群馬県 (人)				兵庫県 (人)				転入超過上位 (人)			
2023	転入	転出	転入-転出	2023	転入	転出	転入-転出	転入超過上位	転入	転出	転入-転出
2023	3	0	3	2023	6	3	3	静岡県	319	290	29
								岐阜県	6	2	4
								三重県	9	5	4
								鹿児島県	4	0	4
								群馬県	3	0	3
								兵庫県	6	3	3
								岩手県	2	0	2
								神奈川県	21	19	2
								石川県	2	0	2
								福井県	3	1	2
								山梨県	4	2	2
								滋賀県	3	1	2
								福岡県	2	0	2

東京都へは転出超過しているが、20歳代前半と比較すると転出超過数は少ない。岐阜県・三重県は転入超過。愛知県は転出超過ではあるが、転入者も20人と多く、中京圏からの転入者が多い。

転出超過上位5都府県（令和5（2023）年）

愛知県 (人)				東京都 (人)				大阪府 (人)			
2023	転入	転出	転入-転出	2023	転入	転出	転入-転出	2023	転入	転出	転入-転出
2023	20	35	▲15	2023	22	34	▲12	2023	7	17	▲10

茨城県 (人)				埼玉県 (人)				転出超過上位 (人)			
2023	転入	転出	転入-転出	2023	転入	転出	転入-転出	転出超過上位	転入	転出	転入-転出
2023	2	5	▲3	2023	8	11	▲3	愛知県	20	35	▲15
								東京都	22	34	▲12
								大阪府	7	17	▲10
								茨城県	2	5	▲3
								埼玉県	8	11	▲3
								千葉県	5	8	▲3
								京都府	1	4	▲3
								熊本県	0	2	▲2



<県外人口移動（30歳代）> **New!!**

- 令和5（2023）年の転入超過上位5道県は、岐阜県、千葉県、三重県、北海道、滋賀県
- 令和5（2023）年の転出超過上位5府県は、愛知県、神奈川県、大阪府、栃木県、福島県

■都道府県別人口移動の令和5（2023）年の状況（住民基本台帳から集計）

令和5（2023）年の島田市の30歳代の方の社会動態について、都道府県別に集計し、転入及び転出超過の大きい都道府県を抜粋しています。

転入超過上位5道県（令和5（2023）年）

岐阜県 (人)				千葉県 (人)				三重県 (人)			
2023	転入	転出	転入-転出	2023	転入	転出	転入-転出	2023	転入	転出	転入-転出
2023	15	4	▲11	2023	10	7	▲3	2023	4	1	▲3

北海道 (人)				滋賀県 (人)				転入超過上位 (人)			
2023	転入	転出	転入-転出	2023	転入	転出	転入-転出	転入超過上位	転入	転出	転入-転出
2023	4	2	▲2	2023	2	0	▲2	静岡県	310	299	▲11
								岐阜県	15	4	▲11
								千葉県	10	7	▲3
								三重県	4	1	▲3
								北海道	4	2	▲2
								滋賀県	2	0	▲2
								青森県	1	0	▲1
								茨城県	1	0	▲1
								島根県	1	0	▲1
								福岡県	6	5	▲1
								沖縄県	1	0	▲1

20歳代後半同様、岐阜県からの転入者が多い。20歳代と比較すると、転出超過数が少なくなっている。

転出超過上位5府県（令和5（2023）年）

愛知県 (人)				神奈川県 (人)				大阪府 (人)			
2023	転入	転出	転入-転出	2023	転入	転出	転入-転出	2023	転入	転出	転入-転出
2023	20	27	▲7	2023	22	27	▲5	2023	3	8	▲5

栃木県 (人)				福島県 (人)				転出超過上位 (人)			
2023	転入	転出	転入-転出	2023	転入	転出	転入-転出	転出超過上位	転入	転出	転入-転出
2023	0	4	▲4	2023	0	3	▲3	愛知県	20	27	▲7
								神奈川県	22	27	▲5
								大阪府	3	8	▲5
								栃木県	0	4	▲4
								福島県	0	3	▲3
								埼玉県	9	12	▲3
								京都府	1	4	▲3
								石川県	0	2	▲2
								山梨県	1	3	▲2
								佐賀県	0	2	▲2
								宮崎県	0	2	▲2



<県内人口移動>

- 令和元(2019)年以降、転入超過数上位5市町は、牧之原市、焼津市、榛原郡吉田町、榛原郡川根本町、御前崎市
- 令和元(2019)年以降、転出超過数上位5市は、浜松市、掛川市、静岡市、菊川市、沼津市

■県内人口移動の最近の状況（住民基本台帳から集計）

令和元(2019)年から令和5(2023)年の島田市の社会動態について、市町別に集計し、転入及び転出超過の大きい10市町を抜粋しています。

転入超過上位5市町（令和元(2019)年以降）

	転入	転出	転入-転出
2019	117	67	50
2020	120	61	59
2021	91	53	38
2022	98	75	23
2023	98	51	47
累計	524	307	217

	転入	転出	転入-転出
2019	221	182	39
2020	204	170	34
2021	187	157	30
2022	198	131	67
2023	171	174	▲3
累計	981	814	167

	転入	転出	転入-転出
2019	131	86	45
2020	118	112	6
2021	94	55	39
2022	108	72	36
2023	86	76	10
累計	537	401	136

	転入	転出	転入-転出
2019	40	22	18
2020	48	19	29
2021	39	16	23
2022	47	13	34
2023	35	30	5
累計	209	100	109

	転入	転出	転入-転出
2019	26	12	14
2020	37	7	30
2021	28	11	17
2022	25	12	13
2023	19	10	9
累計	135	52	83

転入超過上位	転入	転出	転入-転出
牧之原市	524	307	217
焼津市	981	814	167
榛原郡吉田町	537	401	136
榛原郡川根本町	209	100	109
御前崎市	135	52	83
藤枝市	1,590	1,561	29
富士宮市	77	61	16

近隣市町からの転入が多い。
焼津市は令和4(2022)年までは転入超過だったが、令和5(2023)年は転出超過となった。
令和5(2023)年は、特に牧之原市、藤枝市からの転入が多い。

転入超過上位5市町（令和5(2023)年）

	転入	転出	転入-転出
2023	98	51	47

	転入	転出	転入-転出
2023	304	258	46

	転入	転出	転入-転出
2023	70	52	18

	転入	転出	転入-転出
2023	23	6	17

	転入	転出	転入-転出
2023	19	10	9

転入超過上位	転入	転出	転入-転出
牧之原市	98	51	47
藤枝市	304	258	46
菊川市	70	52	18
富士宮市	23	6	17
榛原郡吉田町	86	76	10
御前崎市	19	10	9
袋井市	35	27	8
榛原郡川根本町	35	30	5
三島市	14	9	5
裾野市	14	9	5



転出超過上位5市（令和元(2019)年以降）

	転入	転出	転入-転出
2019	137	112	25
2020	125	113	12
2021	106	122	▲16
2022	111	145	▲34
2023	108	155	▲47
累計	587	647	▲60

	転入	転出	転入-転出
2019	74	102	▲28
2020	89	78	11
2021	73	108	▲35
2022	72	77	▲5
2023	63	66	▲3
累計	371	431	▲60

	転入	転出	転入-転出
2019	271	305	▲34
2020	293	254	39
2021	257	240	17
2022	259	290	▲31
2023	250	277	▲27
累計	1,330	1,366	▲36

	転入	転出	転入-転出
2019	42	64	▲22
2020	42	54	▲12
2021	50	66	▲16
2022	64	54	10
2023	70	52	18
累計	268	290	▲22

	転入	転出	転入-転出
2019	22	20	2
2020	21	32	▲11
2021	16	19	▲3
2022	21	21	0
2023	17	23	▲6
累計	97	115	▲18

	転入	転出	転入-転出
浜松市	587	647	▲60
掛川市	371	431	▲60
静岡市	1,330	1,366	▲36
菊川市	268	290	▲22
沼津市	97	115	▲18
袋井市	146	161	▲15
富士市	155	167	▲12
湖西市	26	32	▲6

転出超過上位5市（令和5(2023)年）

	転入	転出	転入-転出
2023	108	155	▲47

	転入	転出	転入-転出
2023	250	277	▲27

	転入	転出	転入-転出
2023	36	48	▲12

	転入	転出	転入-転出
2023	8	14	▲6

	転入	転出	転入-転出
2023	17	23	▲6

	転入	転出	転入-転出
浜松市	108	155	▲47
静岡市	250	277	▲27
富士市	36	48	▲12
御殿場市	8	14	▲6
沼津市	17	23	▲6
駿東郡清水町	2	6	▲4
焼津市	171	174	▲3
掛川市	63	66	▲3
伊豆の国市	3	5	▲2
賀茂郡松崎町	0	1	▲1

浜松市をはじめとする西部地方や静岡市への転出が多い。



<県内人口移動（9歳以下）> **New!!**

- 令和5（2023）年の転入超過数上位5市は、静岡市、袋井市、牧之原市、菊川市、掛川市
- 令和5（2023）年の転出超過数上位5市町は、浜松市、磐田市、駿東郡清水町、焼津市、榛原郡吉田町

■県内人口移動の令和5（2023）年の状況（住民基本台帳から集計）

令和5（2023）年の島田市の9歳以下の方の社会動態について、市町別に集計し、転入及び転出超過の大きい10市町を抜粋しています。

転入超過上位5市（令和5（2023）年）

静岡市	(人)		
	転入	転出	転入-転出
2023	34	20	14

袋井市	(人)		
	転入	転出	転入-転出
2023	9	0	9

牧之原市	(人)		
	転入	転出	転入-転出
2023	10	2	8

菊川市	(人)		
	転入	転出	転入-転出
2023	9	3	6

掛川市	(人)		
	転入	転出	転入-転出
2023	7	4	3

(人)			
転入超過上位	転入	転出	転入-転出
静岡市	34	20	14
袋井市	9	0	9
牧之原市	10	2	8
菊川市	9	3	6
掛川市	7	4	3
藤枝市	24	22	2
富士市	5	3	2
富士宮市	2	0	2
湖西市	3	1	2
御前崎市	2	0	2

静岡市は全年代では転出超過だが、9歳以下は転入超過となっている。

転出超過上位5市町（令和5（2023）年）

浜松市	(人)		
	転入	転出	転入-転出
2023	5	10	▲5

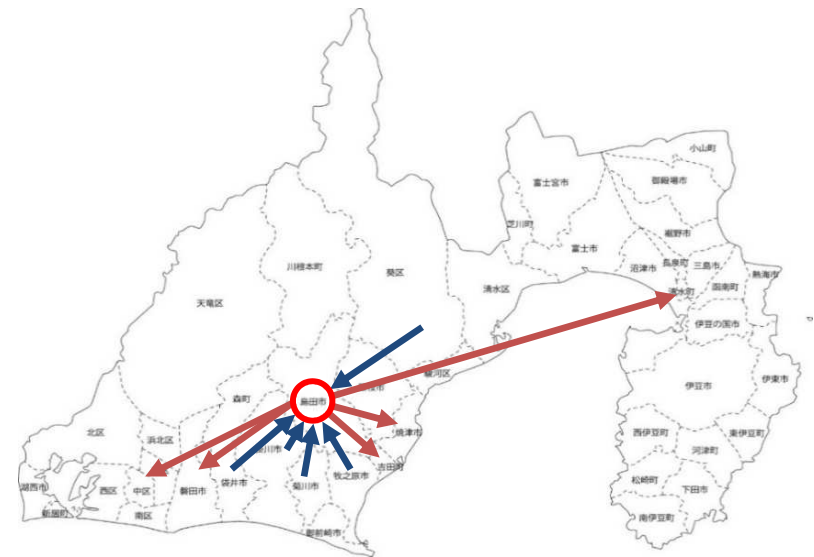
磐田市	(人)		
	転入	転出	転入-転出
2023	1	4	▲3

駿東郡清水町	(人)		
	転入	転出	転入-転出
2023	0	2	▲2

焼津市	(人)		
	転入	転出	転入-転出
2023	16	17	▲1

榛原郡吉田町	(人)		
	転入	転出	転入-転出
2023	9	10	▲1

(人)			
転出超過上位	転入	転出	転入-転出
浜松市	5	10	▲5
磐田市	1	4	▲3
駿東郡清水町	0	2	▲2
焼津市	16	17	▲1
榛原郡吉田町	9	10	▲1
三島市	0	1	▲1
御殿場市	0	1	▲1



<県内人口移動（20歳代前半）> **New!!**

- 令和5（2023）年の転入超過数上位5市町は、焼津市、富士宮市、榛原郡吉田町、磐田市、藤枝市
- 令和5（2023）年の転出超過数上位5市は、静岡市、浜松市、沼津市、御殿場市、菊川市

■県内人口移動の令和5（2023）年の状況（住民基本台帳から集計）

令和5（2023）年の島田市の20歳代前半の方の社会動態について、市町別に集計し、転入及び転出超過の大きい10市町を抜粋しています。

転入超過上位5市町（令和5（2023）年）

焼津市 (人)				富士宮市 (人)				榛原郡吉田町 (人)			
	転入	転出	転入-転出		転入	転出	転入-転出		転入	転出	転入-転出
2023	37	24	13	2023	7	1	6	2023	12	7	5

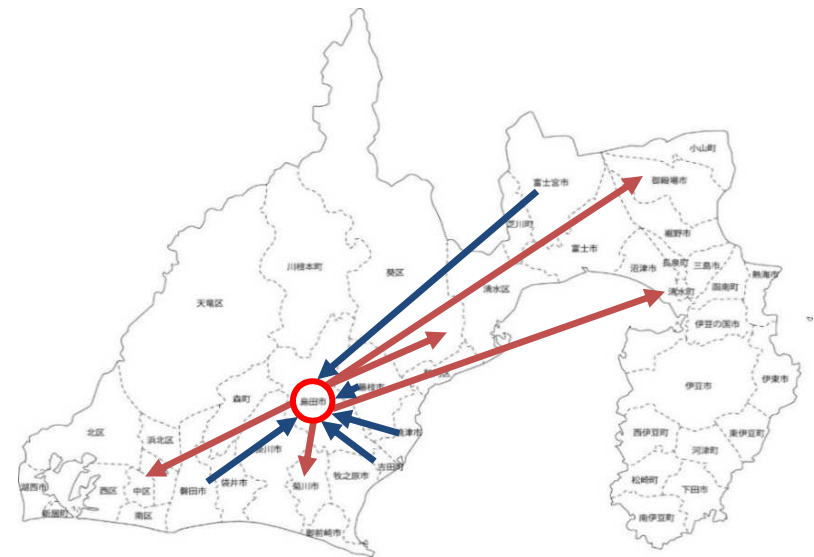
磐田市 (人)				藤枝市 (人)				転入超過上位 (人)			
	転入	転出	転入-転出		転入	転出	転入-転出		転入	転出	転入-転出
2023	9	5	4	2023	43	39	4	焼津市	37	24	13
								富士宮市	7	1	6
								榛原郡吉田町	12	7	5
								磐田市	9	5	4
								藤枝市	43	39	4
								裾野市	6	2	4
								掛川市	12	9	3
								牧之原市	9	6	3
								袋井市	6	4	2
								湖西市	2	0	2

焼津市は全年代では転出超過だが、20歳代前半は転入超過となっている。静岡市や浜松市などへ就職により転出する人が多い。

転出超過上位5市（令和5（2023）年）

静岡市 (人)				浜松市 (人)				沼津市 (人)			
	転入	転出	転入-転出		転入	転出	転入-転出		転入	転出	転入-転出
2023	36	63	▲27	2023	18	40	▲22	2023	2	6	▲4

御殿場市 (人)				菊川市 (人)				転出超過上位 (人)			
	転入	転出	転入-転出		転入	転出	転入-転出		転入	転出	転入-転出
2023	2	6	▲4	2023	6	9	▲3	静岡市	36	63	▲27
								浜松市	18	40	▲22
								沼津市	2	6	▲4
								御殿場市	2	6	▲4
								菊川市	6	9	▲3
								伊豆の国市	1	4	▲3
								熱海市	0	1	▲1
								三島市	1	2	▲1
								伊東市	0	1	▲1
								賀茂郡松崎町	0	1	▲1
								榛原郡川根本町	3	4	▲1



<県内人口移動（20歳代後半）> **New!!**

- 令和5（2023）年の転入超過数上位5市町は、藤枝市、牧之原市、菊川市、榛原郡吉田町、浜松市
- 令和5（2023）年の転出超過数上位5市は、焼津市、静岡市、富士市、袋井市、湖西市

■県内人口移動の令和5（2023）年の状況（住民基本台帳から集計）

令和5（2023）年の島田市の20歳代後半の方の社会動態について、市町別に集計し、転入及び転出超過の大きい10市町を抜粋しています。

転入超過上位5市町（令和5（2023）年）

藤枝市 (人)			
	転入	転出	転入-転出
2023	67	52	15

牧之原市 (人)			
	転入	転出	転入-転出
2023	17	5	12

菊川市 (人)			
	転入	転出	転入-転出
2023	17	7	10

榛原郡吉田町 (人)			
	転入	転出	転入-転出
2023	25	16	9

浜松市 (人)			
	転入	転出	転入-転出
2023	37	34	3

転入超過上位 (人)			
	転入	転出	転入-転出
藤枝市	67	52	15
牧之原市	17	5	12
菊川市	17	7	10
榛原郡吉田町	25	16	9
浜松市	37	34	3
磐田市	12	9	3
御前崎市	4	1	3
榛原郡川根本町	6	3	3

焼津市は20歳代前半では転入超過だが、20歳代後半では転出超過となっている。20歳代前半と比較すると、転出超過数が少なくなっている。

転出超過上位5市（令和5（2023）年）

焼津市 (人)			
	転入	転出	転入-転出
2023	33	44	▲11

静岡市 (人)			
	転入	転出	転入-転出
2023	55	65	▲10

富士市 (人)			
	転入	転出	転入-転出
2023	5	11	▲6

袋井市 (人)			
	転入	転出	転入-転出
2023	6	9	▲3

湖西市 (人)			
	転入	転出	転入-転出
2023	0	3	▲3

転出超過上位 (人)			
	転入	転出	転入-転出
焼津市	33	44	▲11
静岡市	55	65	▲10
富士市	5	11	▲6
袋井市	6	9	▲3
湖西市	0	3	▲3



<県内人口移動（30歳代）> **New!!**

- 令和5（2023）年の転入超過数上位5市は、藤枝市、静岡市、菊川市、牧之原市、富士宮市
- 令和5（2023）年の転出超過数上位5市町は、浜松市、富士市、磐田市、掛川市、駿東郡清水町

■県内人口移動の令和5（2023）年の状況（住民基本台帳から集計）

令和5（2023）年の島田市の30歳代の方の社会動態について、市町別に集計し、転入及び転出超過の大きい10市町を抜粋しています。

転入超過上位5市（令和5（2023）年）

藤枝市 (人)				静岡市 (人)				菊川市 (人)			
2023	転入	転出	転入-転出	2023	転入	転出	転入-転出	2023	転入	転出	転入-転出
2023	64	49	15	2023	63	53	10	2023	21	13	8

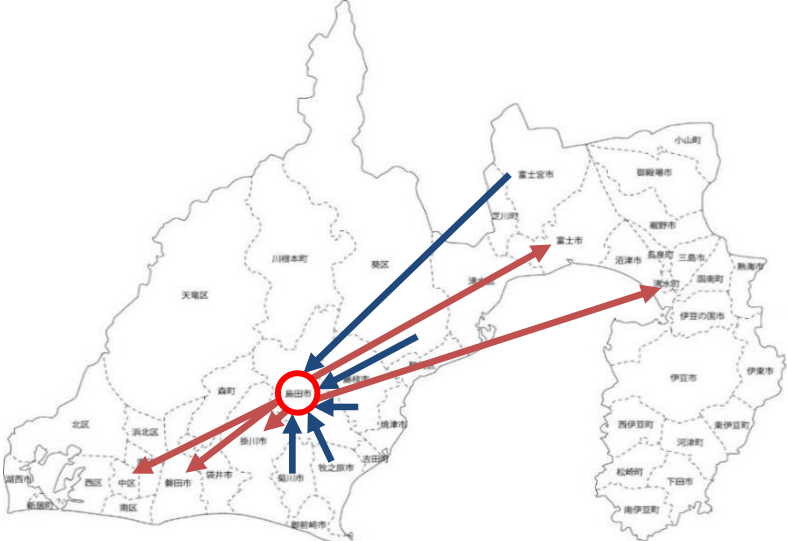
牧之原市 (人)				富士宮市 (人)				転入超過上位 (人)			
2023	転入	転出	転入-転出	2023	転入	転出	転入-転出	藤枝市	静岡市	菊川市	牧之原市
2023	20	12	8	2023	4	1	3	64	63	21	20
								49	53	13	12
								15	10	8	8
								8	3	3	4
								2	2	2	2
								38	2	2	38
								6	2	2	6

近隣市からの転入が多く、浜松市、富士市、磐田市等への転出が多い。藤枝市は20歳代に続き、30歳代も転入超過となっている。

転出超過上位5市町（令和5（2023）年）

浜松市 (人)				富士市 (人)				磐田市 (人)			
2023	転入	転出	転入-転出	2023	転入	転出	転入-転出	2023	転入	転出	転入-転出
2023	21	37	▲16	2023	7	15	▲8	2023	2	9	▲7

掛川市 (人)				駿東郡清水町 (人)				転出超過上位 (人)			
2023	転入	転出	転入-転出	2023	転入	転出	転入-転出	浜松市	富士市	磐田市	掛川市
2023	16	23	▲7	2023	0	3	▲3	21	7	2	16
								37	15	9	23
								▲16	▲8	▲7	▲7
								▲3	▲1	▲1	▲3
								▲1	▲1	▲1	▲1
								2	2	2	2
								3	3	3	3
								▲1	▲1	▲1	▲1

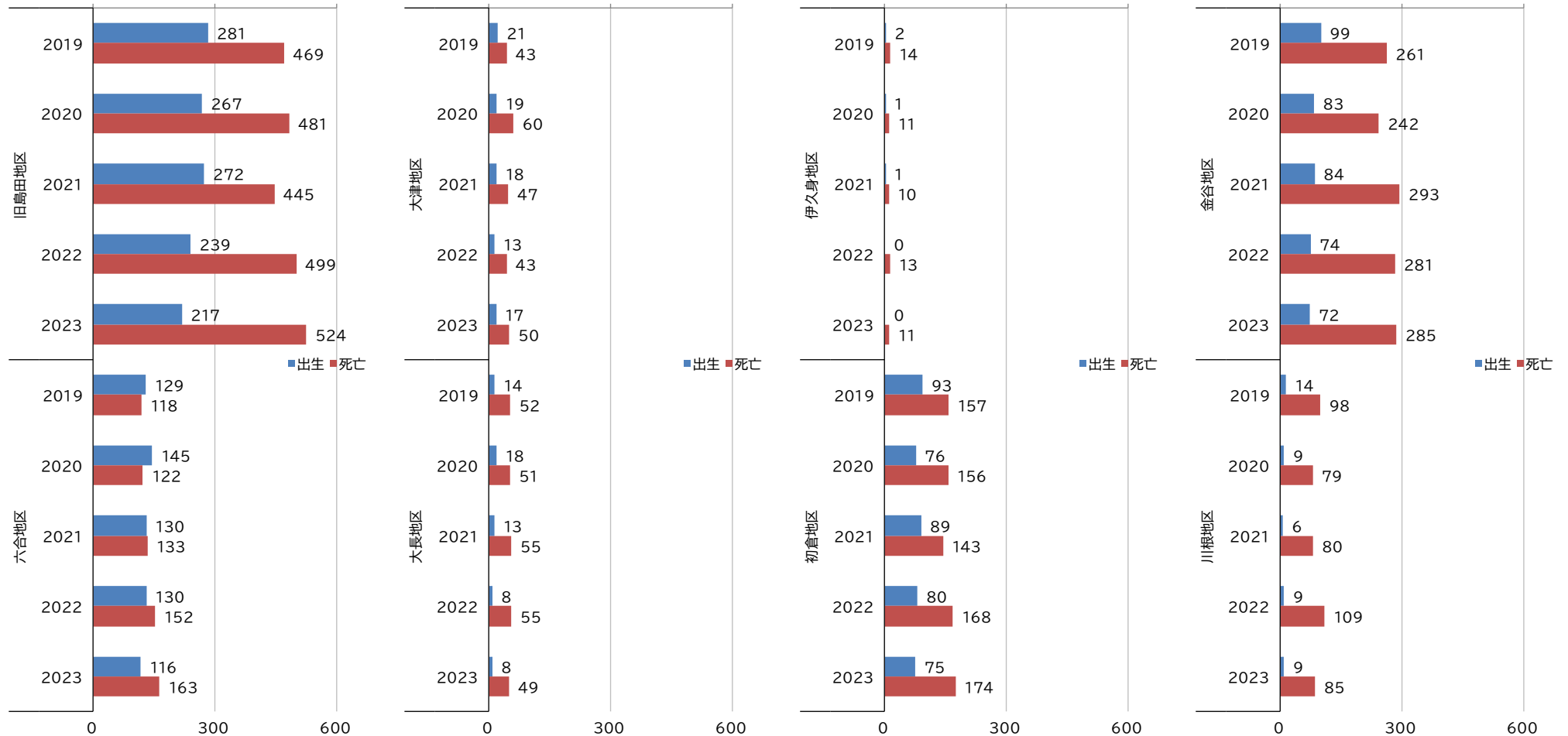


<市内地区別自然増減>

- ▶ 六合地区は、調査をはじめた平成 28(2016)年から連続して自然増加であったが、令和 3(2021)年から減少に転じた
- ▶ 六合以外の地区では、5年連続して自然減少している

■島田市内地区別の人口移動の状況（住民基本台帳から集計）

令和元(2019)年から令和 5(2023)年の島田市内の出生数、死亡数について、地区別に掲載します。

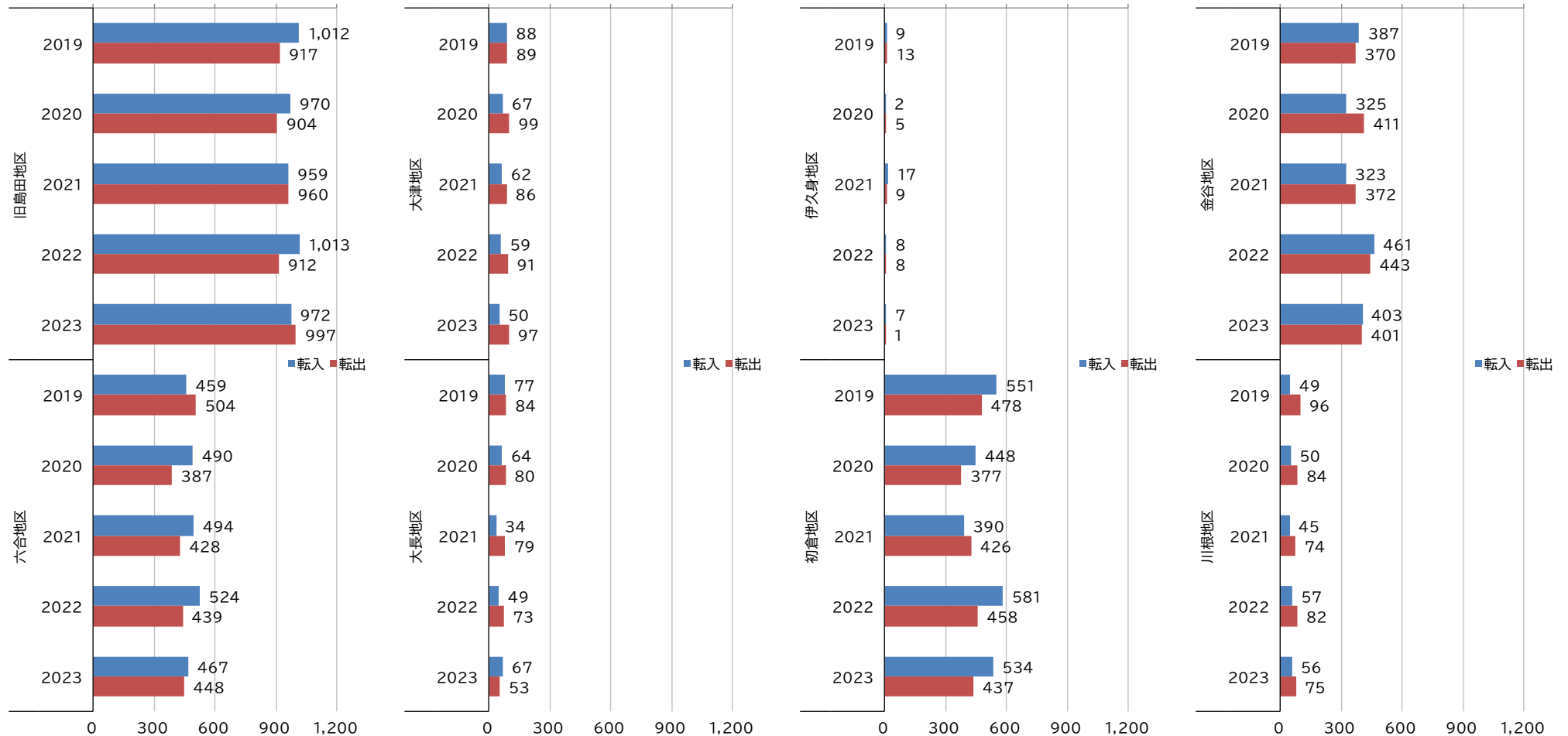


<市内地区別社会移動増減>

- 令和5(2023)年に転入超過となった地区は、初倉、六合、大長、伊久身、金谷地区
- 減少傾向が続いている伊久身地区で、令和5(2023)年は転入超過(増加)となった

■島田市内地区別の人口移動の状況(住民基本台帳から集計)

令和元(2019)年から令和5(2023)年の島田市内の転入者、転出者について、地区別に掲載します。

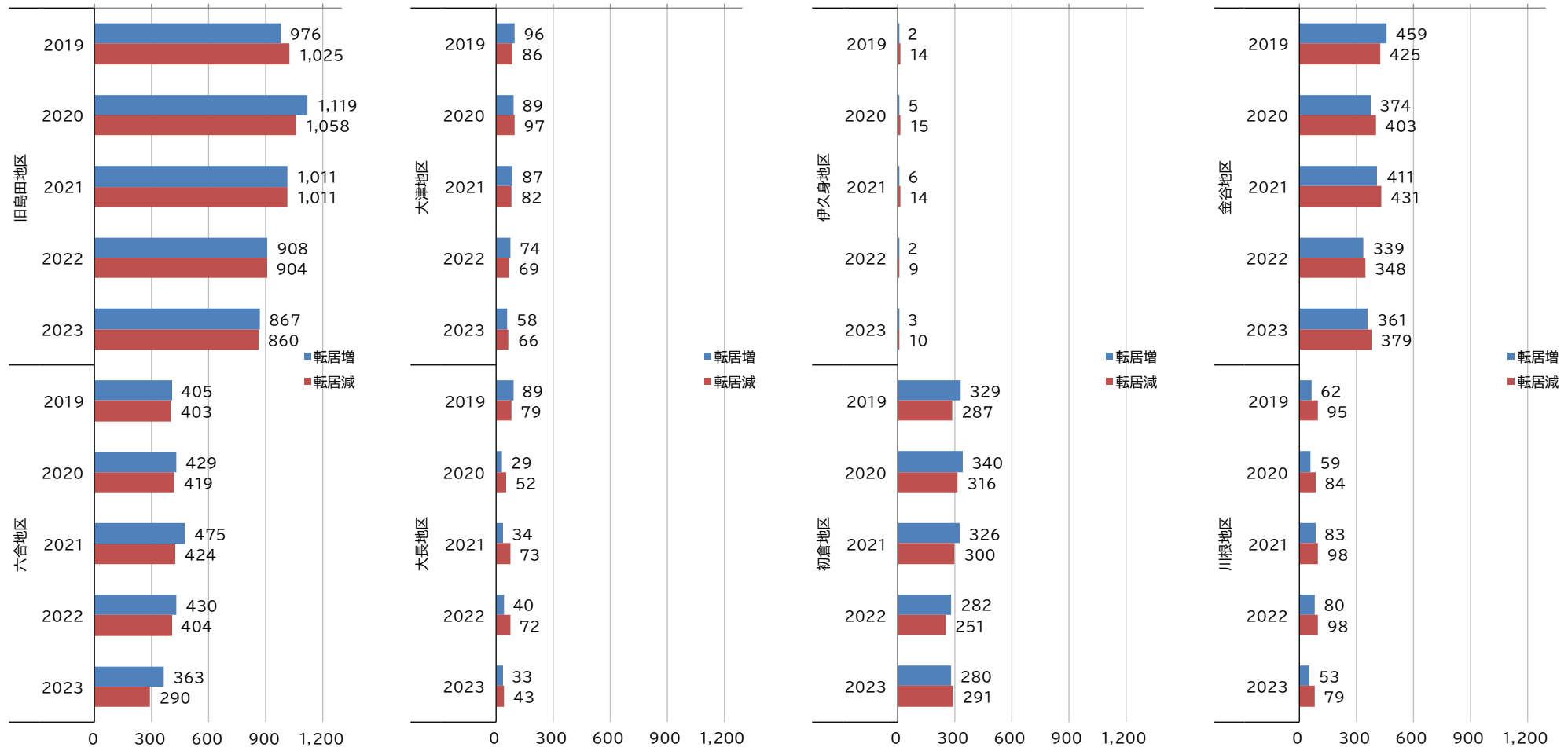


<市内地区別転居増減>

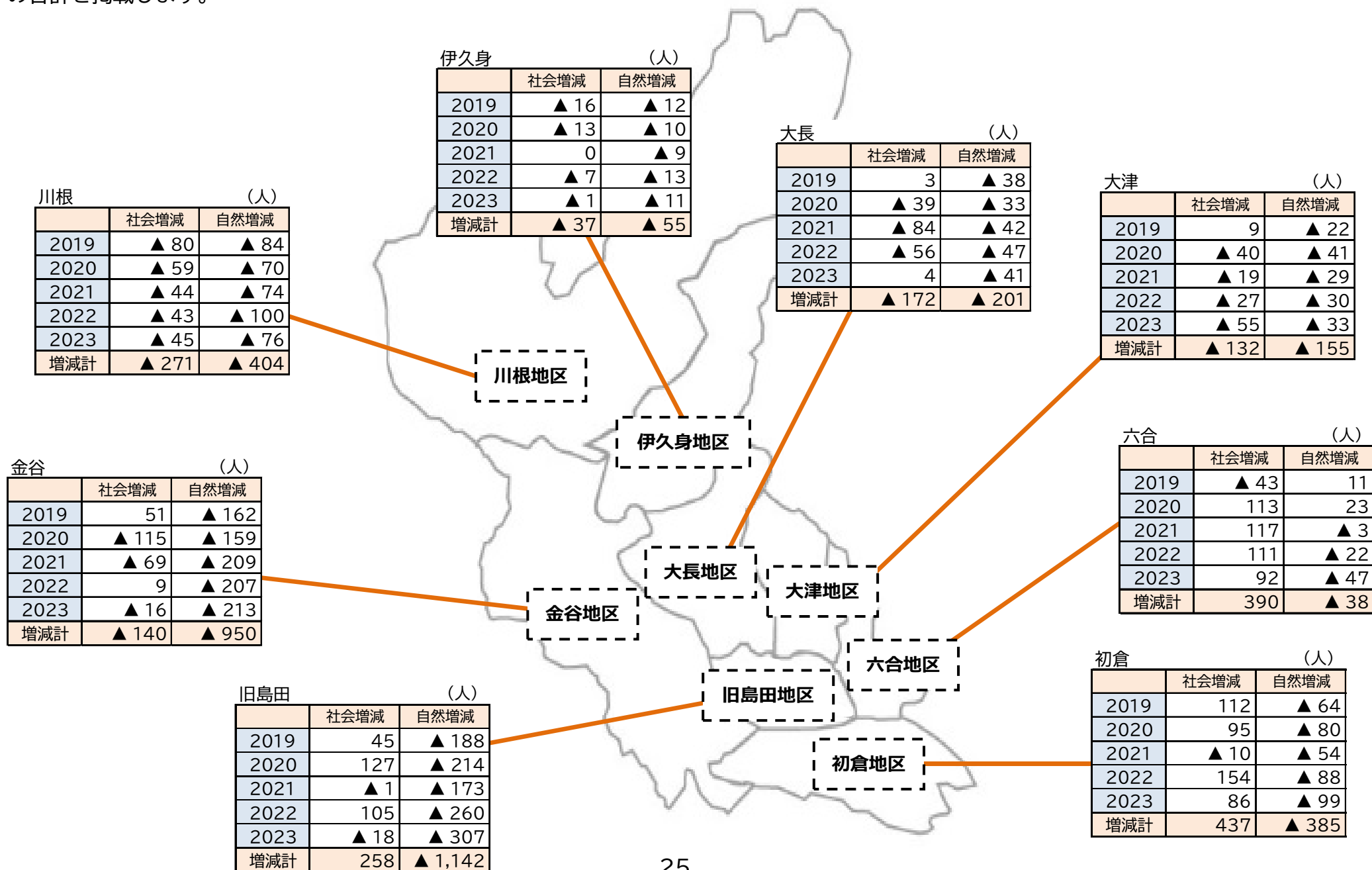
- 令和5(2023)年に増加した地区は、六合、旧島田地区
- 5年連続で減少した地区は、川根、伊久身地区

■島田市内地区別の転居の状況（住民基本台帳から集計）

令和元(2019)年から令和5(2023)年の島田市内の市内転居者について、地区別に掲載します。



令和元(2019)年から令和5(2023)年の地区別の社会増減（市外・転入者－転出者、市内・転居入－転居出の合計）、自然動態（出生－死亡）の合計を掲載します。



令和元(2019)年から令和5(2023)年の各年12月末の地区別の年少人口数を掲載します。 **New!!**

5年間で、金谷地区▲341人
大津地区▲207人
旧島田地区▲193人

川根 (人)

	年少人口	増減
2019	336	▲28
2020	315	▲21
2021	299	▲16
2022	280	▲19
2023	263	▲17
増減計		▲101

伊久身 (人)

	年少人口	増減
2019	54	▲5
2020	46	▲8
2021	49	3
2022	43	▲6
2023	39	▲4
増減計		▲20

大長 (人)

	年少人口	増減
2019	370	▲23
2020	346	▲24
2021	324	▲22
2022	300	▲24
2023	279	▲21
増減計		▲114

大津 (人)

	年少人口	増減
2019	588	▲46
2020	557	▲31
2021	510	▲47
2022	472	▲38
2023	427	▲45
増減計		▲207

金谷 (人)

	年少人口	増減
2019	2,176	▲32
2020	2,099	▲77
2021	2,025	▲74
2022	1,943	▲82
2023	1,867	▲76
増減計		▲341

六合 (人)

	年少人口	増減
2019	2,466	▲28
2020	2,464	▲2
2021	2,481	17
2022	2,459	▲22
2023	2,404	▲55
増減計		▲90

旧島田 (人)

	年少人口	増減
2019	4,643	22
2020	4,655	12
2021	4,607	▲48
2022	4,521	▲86
2023	4,428	▲93
増減計		▲193

初倉 (人)

	年少人口	増減
2019	1,684	▲6
2020	1,689	5
2021	1,676	▲13
2022	1,669	▲7
2023	1,618	▲51
増減計		▲72

<外国人国籍別人口> **New!!**

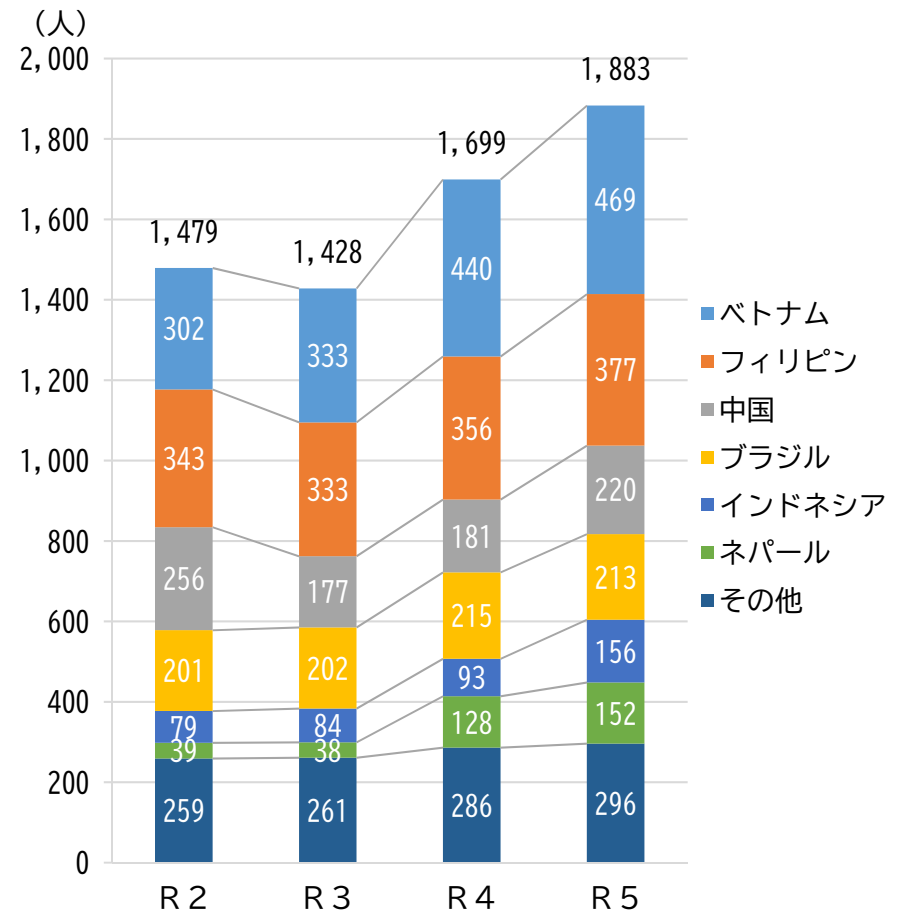
- 令和5(2023)年12月末の人口が100人を超えている国は、ベトナム、フィリピン、中国、ブラジル、インドネシア、ネパール
- 令和5(2023)年の人口が増加した上位5か国は、インドネシア、中国、ベトナム、ネパール、フィリピン

■外国人国籍別人口の最近の状況（住民基本台帳から集計）

令和2(2020)年から令和5(2023)年の外国人国籍別人口について、各年12月末の人口が多い10か国を抜粋しています。

	R 2	R 3	R 4	R 5
外国人全体	40か国 1,479人 前年比 + 68人	40か国 1,428人 前年比 ▲ 51人	36か国 1,699人 前年比 + 271人	41か国 1,883人 前年比 + 184人
1	フィリピン 343人 (23.2%) 前年比 + 22人	フィリピン 333人 (23.3%) 前年比 ▲ 10人	ベトナム 440人 (25.9%) 前年比 + 107人	ベトナム 469人 (24.9%) 前年比 + 29人
2	ベトナム 302人 (20.4%) 前年比 + 36人	ベトナム 333人 (23.3%) 前年比 + 31人	フィリピン 356人 (21.0%) 前年比 + 23人	フィリピン 377人 (20.0%) 前年比 + 21人
3	中国 256人 (17.3%) 前年比 ▲ 17人	ブラジル 202人 (14.1%) 前年比 + 1人	ブラジル 215人 (12.7%) 前年比 + 13人	中国 220人 (11.7%) 前年比 + 39人
4	ブラジル 201人 (13.6%) 前年比 + 10人	中国 177人 (12.4%) 前年比 ▲ 79人	中国 181人 (10.7%) 前年比 + 4人	ブラジル 213人 (11.3%) 前年比 ▲ 2人
5	インドネシア 79人 (5.3%) 前年比 ± 0人	インドネシア 84人 (5.9%) 前年比 + 5人	ネパール 128人 (7.5%) 前年比 + 90人	インドネシア 156人 (8.3%) 前年比 + 63人
6	ペルー 63人 (4.3%) 前年比 + 10人	ペルー 58人 (4.1%) 前年比 ▲ 5人	インドネシア 93人 (5.5%) 前年比 + 9人	ネパール 152人 (8.1%) 前年比 + 24人
7	韓国 41人 (2.8%) 前年比 + 3人	ネパール 38人 (2.7%) 前年比 ▲ 1人	ペルー 57人 (3.4%) 前年比 ▲ 1人	ペルー 48人 (2.5%) 前年比 ▲ 9人
8	ネパール 39人 (2.6%) 前年比 + 9人	韓国 37人 (2.6%) 前年比 ▲ 4人	韓国 37人 (2.2%) 前年比 ± 0人	韓国 38人 (2.0%) 前年比 + 1人
9	アルゼンチン 25人 (1.7%) 前年比 ± 0人	アルゼンチン 28人 (2.0%) 前年比 + 3人	アルゼンチン 30人 (1.8%) 前年比 + 2人	スリランカ 33人 (1.8%) 前年比 + 3人
10	ポリビア 17人 (1.1%) 前年比 ± 0人	スリランカ 23人 (1.6%) 前年比 + 10人	スリランカ 30人 (1.8%) 前年比 + 7人	ミャンマー 30人 (1.6%) 前年比 + 7人

外国人人口推移のグラフ



※外国人全体の中に、無国籍1人含む

<外国人国籍別人口移動> **New!!**

- 令和5(2023)年の国籍別転入超過数上位5か国は、インドネシア、中国、ベトナム、フィリピン、ネパール
- 令和5(2023)年の国籍別転出超過数上位5か国は、ペルー、ブラジル、ボリビア、パラグアイ、アルゼンチン

■外国人国籍別人口移動の令和5(2023)年の状況(住民基本台帳から集計)

令和5(2023)年の外国人の社会動態について、国籍別に集計し、転入及び転出超過の大きい10か国を抜粋しています。

転入超過上位5か国(令和5(2023)年)

インドネシア (人)				中国 (人)				ベトナム (人)			
	転入	転出	転入-転出		転入	転出	転入-転出		転入	転出	転入-転出
2023	83	19	64	2023	75	30	45	2023	196	158	38

フィリピン (人)				ネパール (人)			
	転入	転出	転入-転出		転入	転出	転入-転出
2023	103	76	27	2023	27	7	20

転入超過上位	転入	転出	転入-転出
インドネシア	83	19	64
中国	75	30	45
ベトナム	196	158	38
フィリピン	103	76	27
ネパール	27	7	20
タイ	12	2	10
ミャンマー	12	5	7
スリランカ	8	4	4
台湾	3	0	3
韓国	4	2	2
ラオス	2	0	2



転出超過上位5か国(令和5(2023)年)

ペルー (人)				ブラジル (人)				ボリビア (人)			
	転入	転出	転入-転出		転入	転出	転入-転出		転入	転出	転入-転出
2023	7	15	▲8	2023	23	27	▲4	2023	0	4	▲4

パラグアイ (人)				アルゼンチン (人)			
	転入	転出	転入-転出		転入	転出	転入-転出
2023	0	4	▲4	2023	0	3	▲3

転出超過上位	転入	転出	転入-転出
ペルー	7	15	▲8
ブラジル	23	27	▲4
ボリビア	0	4	▲4
パラグアイ	0	4	▲4
アルゼンチン	0	3	▲3
カンボジア	0	1	▲1
パキスタン	0	1	▲1

【参考】近隣市町の外国人比率(R5.12末)

市町名	人口全体	外国人人口	外国人比率
島田市	95,698	1,883	1.97%
焼津市	136,343	5,409	3.97%
掛川市	115,419	5,015	4.35%
藤枝市	140,979	2,059	1.46%
御前崎市	30,288	1,196	3.95%
菊川市	47,541	3,955	8.32%
牧之原市	43,067	2,585	6.00%
榛原郡吉田町	29,255	2,335	7.98%
榛原郡川根本町	5,907	94	1.59%